

学校関係者評価委員会 議事録

会議名：学校関係者評価委員会

日 時：令和8年8月4日（火） 14：00～15：30（予定）

会 場：専門学校デジタルアーツ仙台本館 2階 IT 教室

出席予定者：学校評価委員会、事務局

1. 学校関係者評価委員及び事務局について

（学校評価委員）

氏 名	所 属 等
委員長 渡邊 孝博	株式会社 オンサイト 代表取締役
副委員長 小野寺 千代志	株式会社 E A M 代表取締役
布川 博士	岩手県立大学ソフトウェア情報学部 名誉教授
石川 智英	株式会社東北共立 執行役員
金塚 弘	株式会社メディアPR 代表取締役
武藤 政寿	公益社団法人 定禅寺ストリートジャズフェスティバル協会理事長
播磨 亮達 （当日欠席）	株式会社BBグラフィクス 代表取締役
湯澤 一也	本町商店街振興組合 理事長
川北 カ斗 （当日欠席）	卒業生（） （株式会社エドワードアンドカンパニー執行役員）

（事務局）

氏 名	所 属 等
菅原 崇博	菅原学園副理事長 専門学校デジタルアーツ仙台 校長
菅原 淳	菅原学園法人本部 常務理事 本部長
井村 修	専門学校デジタルアーツ仙台 副校長
飛田 英男	専門学校デジタルアーツ仙台 教務課 課長
鈴木 理	専門学校デジタルアーツ仙台 学生課 課長
石田 拓 （当日欠席）	専門学校デジタルアーツ仙台 入学相談課 課長
三浦 和音	専門学校デジタルアーツ仙台 イラスト・マンガアニメ科教諭（書記）
伊藤 広之	菅原学園法人本部 総務部 部長

2. 委員会次第

・開会挨拶

校長 菅原崇博

デジタルアーツ仙台では本当に大きな変革が始まっています。皆様のお手元にのパンフレットもご用意させていただきましたが、来年 2027 年 4 月から、新たな学科が立ち上がります。

まず 1 つはバンタンさんと提携いたしました。音楽などを中心とした学科の、それから一度募集停止いたしました声優科もこのバンタン学科の中で復活をさせた形になっております。

そしてもう 1 つが、東北電力様との共同学科という形で産学連携の電力エンジニアリング科、こちらは AI 等に代替されない、人間の力が必要とされる電線・あるいは電気設備等の整備を行う人材育成が大きな課題となっているところで、我々がタッグを組んだ新しい学科となっております。まさに、専門学校使命である社会の即戦力ある人材を育成するということですね。我々の様々の見討を重りながらデジタル生では新しい形に持っていこうとしております。

この点も踏まえ、本日皆様より、本校についてのご意見賜ればと思います。

・事務局（デジタルアーツ仙台）紹介

・学校関係者評価委員紹介

・職業実践専門課程に関する説明

副校長 井村

専門学校の中で企業などと連携しながら、最新の技術を学べる学科を文部科学大臣が認定した課程のことになります。専門学校のすべてが名乗れるわけではなく、一定の条件を満たした学校が職業実践専門課程として認定されます。

主な特徴としましては、修業年限が 2 年以上である。授業時間が一定以上ある。企業と一緒にカリキュラムを作っている。企業と連携した実習研修が多い。

教員も企業と連携した研修で実務力を高め、学校評価やカリキュラムをホームページなどで情報を公開している。

現在認定校としては 1123 校になります。全国の専門学校約 2700 校ありますが、そのうちの 42%が認定を受けているという形になります。

デジタルアーツ仙台としては、2 年課程の学科はすべて認定を受けております。ゲームクリエイター科、応用情報システム科に関しましては、2 年課程での認定は受けておりましたが、現在は 3 年課程に移行しているため、来年度 3 年課程の卒業生が出てからの再度申請を行う形で準備を進めております。

以上簡単ですが職業実践専門課程の説明とさせていただきます。

・ 自己評価に関する討議、意見交換

議長 渡邊委員長

以下、配布資料を基に各委員から説明、討議・意見交換

(1) 教育理念・目標

(井村) 例年通りの評価

(2) 学校運営

(議長・渡邊) h の項目について 3 から 4 に評価が上がっている

(井村) 新システムへ移行し、円滑に進めているが、教員側がまだシステムを使いこなせておらずシステムに追いついていない状況

(議長・渡邊) 具体的にはどのような問題があったのか

(井村) 老朽化により、システムのダウン・復旧に時間がかかっていた部分がかかり改善された。

まだ使いこなせてはいないが徐々に慣れていっている段階

(3) 教育活動

(飛田) 研修については不確定な部分が多く、AI をどう活用して行くかという課題が出ている。評価についても新システムに対応していく。シラバスと連動し、演習・実習の成績についても見直している段階。

(議長・渡邊) m、n の項目に関しての職員研修については全教員に機会が設けられているのか

(井村) 全教員については新任教員研修を実施。学科ごとの研修となるとバラツキが出ている。

(4) 学習成果

(議長・渡邊) 退学率の改善等について実施していることがあるか

(飛田) 担任制を取っているため、担任による個別相談を実施している。昨年比で除退率の数値が上がっている。原因としてはうつ病等の精神面の問題が多いような印象を受けている。これについては教員も研修等で知識を持つようにしている。自閉症の学生対応なども増えている。

(議長・渡邊) 委員の石川さんの企業は卒業生が多く入社しているがどのような形で入社後の対応をしているか

(石川) 入社後にいろんな仕事に触れてもらう機会を作っている。授業も持っているが、頑なに同じ授業に出席しない学生がいる状況は把握している。

(議長・渡邊) 学校として授業に出席できない学生にたいしてどのような対応をしているか

- (井村) 通信制の学生が多く、オリエンテーション後に授業開始すると来られなくなる。
- (鈴木) 個別対応を実施しているが、なかなか対応は難しい
- (井村) 退学等を促している訳ではなく、保護者と連携をとり、オンラインや個別授業の対応している
- (小野寺) 先生方の負担が大きくなっている感触があるがどう感じているのか？
- (飛田) コミュニケーションの取り方は個別で実施している。教員と助手と一緒に授業に入ってもらい対応している。
- (井村) 学生募集の観点から断るわけにもいけないので保護者とも連携している。
- (鈴木) 各学科でそういった学生が増えてきているので、学校全体として対応を考える段階になっている
- (布川) 大学でも数年前から同じ状況になった際に、専用の人材を配置しその職員が対応するようにしている。
- (飛田) 入学可否判定を出したあとの対応も重要な気がしている

(5) 学生支援

- (鈴木) h について、姉妹校の仙台医療大学校で同窓会の発足式を実施している。新システムに同窓会システムがあるため今後活用していく
- (武藤) 卒業生から再就職したいという相談はあるのか
- (鈴木) 担任レベルでの対応はあるが、組織的に対応しているものはない
- (武藤) 離職率が高くなっているので専門学校での対応も必要ではないか

(6) 教育環境

- (井村) 全学科の機材をいっきに入れ替えるのは難しいが、順繰りに学生へいい環境が提供できるよう進めている。防災についても対応している
- (湯澤) 防災について商店街として実施していることはないが、災害の際学校として地域と連携しての取り組みがあると助かる。
- (小野寺) 小学校の音楽教室での火事があり、構造として似ている部分があると思うが対策などはしているのか
- (井村) 定期的な点検をしている。耐震工事等も実施している。
- (金塚) 防災センターのとしての役割はどこにあるのか
- (本部長) 法人本部で管轄をしている。

(7) 学生の受け入れ募集 昨年度より変更がないため割愛

(8) 財務

- (本部長) 昨年は黒字計上しているので、今後も継続していけるよう努めている。

(9) 法令等の遵守 問題なく実施されている

(10) 社会貢献・地域貢献

(井村) 学校として学生のボランティア派遣等について協力をさせていただいている。

(委員長・渡邊) 声優科存続が厳しかったが他校は10名を超える入学者がいるがなにか対策は考えているか？

(井村) バンタンとの提携したことによりノウハウなどを学んでいきたい。学生募集に関しても対策を考えている段階。

現状は中学生の職場体験として早い内から接触するようにしている。

(委員長・渡邊) 中学生に対しては学校側から何か発信しているのか？

(井村) ありがたいことに中学校側からの連絡が多く、受け入れのスケジュールを組むのが大変になっている。

(委員長・渡邊) 他校では企業に学生の学費を肩代わりしないかと提案された例も聞いているがどうでしょうか？

(井村) 修学支援の代わりとして運用しているのではないのでしょうか。

(飛田) オープンキャンパスで保護者対応をしているが、出席率や評価されるハードルが高くそういった部分が検討している学生敬遠される要員になっているのでは？

・閉会

常務理事 本部長 菅原淳

各員の話しては本当にあの有意義な意見をたくさん交わしていただき、ありがとうございました。今後ともデジタルアーツ仙台他、学園グループ校を含めた地域に根差した人材育成、また企業との協力・連携を取っていければと本当に幸いです。本日は誠にありがとうございました。

3. 配布資料

- ・ 自己評価表
- ・ 入学パンフレット
- ・ 募集要項
- ・ 学生生活マニュアル